

## 町長就任後、初の定例会にて

# 三村町長が所信を表明!

平成20年12月10日から始まった「平成20年第4回熊野町議会定例会」において、一般質問や議案等の審議に先立ち、三村町長から所信表明が行われました。

### 「まちづくり」の3つの視点

- ① 三世代が輝く暮らしを育む「くまの」づくり
- ② 活力を育み、地域力を高める「くまの」づくり
- ③ 筆産地の歴史と文化を未来につなぐ「くまの」づくり

#### ●シニア世代の社会参加

本町は、団塊の世代にあたる年代層の方が非常に多く、今後、急速に高齢化が進む見込みであります。私は逆にそのことを肯定的にとらえ、これからのまちづくりを担う人的資源が豊富であることを「強み」として「くまの」づくりを進めていきます。

#### ●少子化への対応

町の未来を託す人材は、町の発展の基礎であります。ため、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいきます。

#### ●教育の充実

平成11年に宣言した「教育の町 熊野」を踏まえ、多様な教育を通じて、町民が誇りを持って生き甲斐ある人生を送ることができ、まちづくりを推進します。

#### ●県道の整備促進

国・県に対し、町内のバイパスや黒瀬町と結ぶトンネルの整備促進に向けた働きかけを、強く行っていきます。

道路特定財源の一般財源化により、今後の道路整備の先行きが不透明ですが、県道の整備促進は広域的な問題でありますので、沿線自治体との連携も図りながら、早期の実現に向けた努力を行っていきます。

#### ●生活基盤の整備

生活道路については、必要な整備や計画的な維持管理を行うとともに、バス路線の維持を始めとする生活交通対策にも取り組んでいきます。

上水道事業については、高所団地への給水事業や未給水地域の解消に積極的に取り組み、下水道事業についても、計画的な推進に努めていきます。

#### ●自然との共生

豊富な自然を町民共有の財産として、地域で活かす取り組みを進めるとともに、山林などへの不法投棄の防止やごみを減量化する施策などを通じ、環境の保全にも努めていきます。

#### ●筆文化の振興と情報発信

熊野筆は、本町固有の地域資源であるため、日本一の筆産地を活かし、賑わいづくりや交流人口の拡大に努めます。

本年9月に「筆の日」に定められた春分の日、イベントが計画されています。秋分の日「筆まつり」とともに、本町の二大イベントとして定着するよう、支援を行います。

#### ●筆職人の後継者育成

熊野筆事業協同組合を始めとする関係者と協議し、今後の在り方を検討します。

#### ●政策の実現に向けて

厳しい経済情勢や雇用情勢の中で、ムダ・ムリ・ムラのない行政運営を行うよう、より一層の行財政改革に努め、健全財政を維持していきます。

町民の皆様や議員各位とともに、新しいまちづくりに誠心誠意努力いたしますので、ご理解とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(発言要旨)